



建交労関東トラック協議会15回総会 6都県トラック部会から22人が参加！

建交労関東トラック協議会は7月28日の13時30分から埼玉県浦和市内の埼玉教育会館にて第15回定期総会を開催、6都県のトラック部会から22名が参加しました（東京7名、神奈川6名、埼玉5名、栃木2名、群馬1名、千葉1名）。神奈川県南支部（トラック部会）の参加メンバーは佐藤委員長、大島書記長、金崎書記次長、小島執行委員、



総会冒頭で主催者挨拶をする奥貫議長
内外液輸分会の三浦書記長、合同分会の赤羽組合員でした。総会は栃木選出の石井幹事の司会で進められ、主催者あいさつをおこなった埼玉選出の奥貫議長はトラック産業の労働・経営環境の改善にむけて社会的な動きが前進している情勢に触れながら関東トラック協議会の運動と組織を前進させることの重要性を強調しました。



総会議案を提案する世永事務局長（左）

つづいて東京選出の世永事務局長が昨年総会以降の活動報告と新年度の課題・活動方針を簡潔かつ丁寧提案し、東京選出の中島副議長が会計報告と新年度予算を提案、神奈川選出の金崎会計監査が監査報告を行い、最後に群馬選出の桜井幹事が次期役員体制を提案して討論に入りました。

討論では各都県のトラック部会から発言があり、組織や運動の現状、たたかひの決意などが語られ、神奈川では赤羽組合員が三昭運輸の争議と組織建設について発言しました。その後、提案されたすべての議案と役員体制が全員の拍手で採択され、中島副議長の閉会挨拶で15回総会を閉幕しました。

第2部は保健師を講師に迎え学習会！

第2部の学習会は医療生協さいたま生活協同組合本部の保健師・中島祐子さんを講師に迎えて県南支部の大島書記長の司会で進行しました。

“健康で働き続けるために～長時間労働・喫煙・アルコールによる健康への影響～”と題した講演は非常に分かり易く眠る者は一人もなく、講演後には質問が相次ぎ活気あふれる学習会となりました。



学習会で講演をする保健師の中島祐子さん